

新しい慢性便秘症薬について

● リンゼス

アステラス製薬株式会社は 2017 年 9 月 11 日、グアニル酸シクラーゼ C 受容体アゴニスト「リナクロチド」(製品名: **リンゼス** (R)錠 0.25mg) について、日本での慢性便秘症 (器質的疾患による便秘を除く) に関する効能・効果追加の承認申請を行ったと発表しました。

リンゼスは、米 Ironwood 社より導入し、アステラス製薬が日本で開発・商業化を進めているグアニル酸シクラーゼ C 受容体アゴニスト。腸粘膜上皮細胞に発現しているグアニル酸シクラーゼ C 受容体に局所的に結合して活性化することにより、腸管分泌および腸管輸送能を促進し、内臓痛覚過敏を改善します。

リンゼスは、成人の便秘型過敏性腸症候群（IBS-C）・慢性特発性便秘の適応症で、世界30か国以上で承認されています。

● **AJG555**

EAファーマは2017年11月27日、慢性便秘症治療薬として開発中の**AJG555**（一般名：ポリエチレングリコール製剤）について、国内での製造販売承認申請を行ったと発表しました。

AJG555は、EAファーマがオランダ・Norgine社から導入した経口の慢性便秘症治療薬。腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促します。同剤は、欧州を中心に「MOVICOL」の販売名ですでに販売されています。なお、ポリエチレングリコール製剤は、小児においては英NICE（National Institute for Health and Care Excellence）のガイドライン、成人においては世界消化器病学会（World Gastroenterology

Organisation) のガイドラインなどで使用が推奨されています。

● AJG555

EA ファーマは、2017年2月1日に慢性便秘症治療薬 AJG533(一般名:エロビキシバット水和物)についても製造販売承認申請を行っています。

AJG533 は、EA ファーマがスウェーデン・アルビレオ社から導入した新規作用機序をもつ慢性便秘症治療薬で、胆汁酸の再吸収に係わるトランスポーターを阻害し、自然な排便を促すことを期待した薬剤です。